

## 小麦品種「ニシノカオリ」の安定多収のための生育指標

利用対象：麦生産経営体、指導機関

小麦品種「ニシノカオリ」の水田輪換畑で実収 420kg/10a を得るために必要な生育量は、止葉抽出始期の生育指標値（草丈×m<sup>2</sup>あたり茎数×葉色/10,000）が 150 以上であり、170 以上では倒伏の恐れがあります。

また、子実のタンパク質含有量を 11.5%以上とするためには、開花始めの止葉葉色は 46 以上必要です。

開花始めの葉色が 45 前後の時、開花始めの窒素施肥量を 10a あたり 1kg 増肥するとタンパク質含有率は 0.5 ポイント上昇します。

表 1. 「ニシノカオリ」の実収 420kg/10a を得るための止葉抽出始期の生育指標

生育指標値	各生育量の目安		
	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉色 (SPAD値)
150～170	48～52	650～700	41～45

\*生育指標値 [(草丈 (cm) × 茎数 (本/m<sup>2</sup>) × SPAD 値) / 10,000]

\*止葉抽出始期に窒素 3kg/10a, 開花始めに窒素 3kg/10a を施肥する前提

表 2. 「ニシノカオリ」の原麦粗タンパク質含有率 11.5%以上を得るための生育指標

生育ステージは開花始め
止葉葉色 (SPAD値)
46以上

\*開花始めに窒素 3kg/10a を施肥する前提

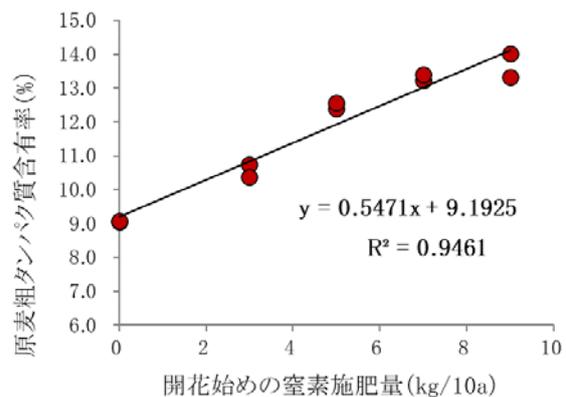


図 1. 開花始めの窒素施肥量と原麦粗タンパク質含有率の関係  
試験年次：2018 年産  
原麦粗タンパク質含有率の水分換算は 13.5%

お問い合わせ先	生産技術研究室農産研究課 田畑茂樹 電話 0598-42-6359 中央農業改良普及センター 磯山繁幸 電話 0598-42-6323
参考になる資料	<a href="http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm">http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm</a> <a href="http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000883036.pdf">http://www.pref.mie.lg.jp/common/content/000883036.pdf</a>